

IWAMIZAWA



発行所 隊友会岩見沢支部
岩見沢市西川町519-25
編集 陸上自衛隊 岩見沢駐屯地
印刷所 福祉村
岩見沢市粟沢町最上350-1
TEL.(0126)45-2721

駐屯地司令年度方針

変化の認識と意識の改革

岩見沢駐屯地司令

1等陸佐 池田 安一郎



人は変化の渦中にいると、無意識のうちに対応してしまい、案外その変化に気づかないのかもしれない。昨日と今日の変化に気づくことは難しいが、去年と今年と同じであると思っている人は認識不足である。世の中で唯一変化しないことは万物は常に変化することであるという。

たとえば、十年前、二十年前と比較すれば大きな変化に気づくだろう。さらには、日本が独立を回復した五十六年前とは大きな違いがある。大きな変化は毎年の変化の積み重ねである。

また、何事も他の物と関係なくしては存在していない。他者との比較において自分らしさがあるようにある。岩見沢駐屯地も、他部隊や地域を含む国内情勢、そして国際情勢との関係の中で存在しているし、それらの変化に対応しつつ存在しているものと考えている。

我々は、岩見沢駐屯地に影響する変化を認識し、目指すべき姿を考え、よりよい変化のために、意識の改革を図り続ける必要がある。新年度の始めに、最近及び近い将来の陸上自衛隊に関する変化を列挙するので、各々が何をすべきか考えてもらいたい。

- ・ 防衛法制の整備
- ・ 防衛省への昇格
- ・ 国際任務の本来任務化
- ・ 営内服務の改正
- ・ 統合幕僚監部、中央即応集団の新設
- ・ 公務員の総人件費改革に伴う自衛官定数の純減
- ・ 業務隊、会計隊等の業務の効率化
- ・ 市町村レベルの国民保護計画の完成
- ・ 平成二十年度以降予定されている上級曹長制度（仮称）の試行
- ・ 第十一師団の旅団化
- ・ 第三施設団の縮小改編

この度、岩見沢駐屯地業務隊に着任しました大石2佐です。「信頼される業務隊を目指そう」を要望事項とし、快適な生活勤務環境醸成に努めますので、よろしくお願いいたします。

紹介

名前	大石 新
年齢	52歳
出身地	秋田県
前任職	第11後方支援連隊 副連隊長

新業務隊長 着任



新着任部隊長紹介

第12施設群

第342施設中隊長・野呂3佐



この度、施設教導隊から第10代342施設中隊長に着任しました野呂3佐です。施設科部隊で最東端にあるこの部隊で中隊長として着任出来たことは大変光栄であると共に諸先輩方の功績及び伝統等を継承すべき任に身の引き締まる思いがします。精強な第342施設中隊を築いて行く所存でありますので、皆様方のご指導ご協力よろしくお願い申し上げます。

第312施設器材中隊長・高野1尉



第312施設器材中隊長として着任致しました高野1尉です。伝統ある第12施設群で勤務できますことを光栄に思います。良き伝統をさらに助長して信頼される施設器材中隊を目指して努力する所存でありますので、よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第336施設中隊長・山下1尉



施設科隊員として開拓精神を保持し、「困難にぶつかっても、道を切開く中隊」を目指して日々隊務を運営していきたいと考えています。皆様のご指導・ご協力をお願い致します。

業務諸隊

第327会計隊長・岸1尉



3月の異動で会計隊長に着任した岸1尉です。初めての勤務地のため、ご指導賜りますようお願い致します。

NEWS!

TOPICS



12月 1日～ 3月、第12施設群群は、岩見沢・釧路・稚内各駐(分)屯地の除雪支援を実施
 2月 1日～16日、第12施設群第336施設中隊は、岩見沢市ドカ雪祭り支援を実施
 2月 3日～ 4日、第327会計隊は、平成18年度北部方面会計隊冬季戦技競技会へ参加部隊競技の部、リレーの部でともに「優勝」個人の部では、陸曹の部で小泉2曹が、陸士の部で、野中士長がそれぞれ「第1位」
 2月 5日～17日、第12施設群は、FISノルディックスキー世界選手権札幌大会支援を実施
 2月 7日、第12施設群は、第3施設団冬季戦技競技会に参加し、併せて、群冬季戦技競技会を実施 第336施設中隊が中隊対抗の部にて「第1位」
 3月 1日、第12施設群は、群らっば競技会を行い、中隊対抗の部では、第337施設中隊が「優勝」個人委の部では302坑道中隊今3曹が「優勝」

3月 3日、第12施設群の隊員24名・第2直接支援中隊の隊員8名が、千歳市武道館で開催された、北海道南部杯銃剣道選手大会に参加
 3月 5日～16日、第12施設群は、岩見沢駐屯地にて方面直轄部隊格闘指導官練成及び特級養成集合訓練を実施
 3月20日、第327会計隊は、北部方面会計隊長より「隊務優秀部隊」を2年連続受賞
 3月22日、第12施設群第337施設中隊は、第12施設群より「群総合隊務優秀中隊」を受賞
 3月30日、第12施設群本部管理中隊 吉田曹長は、北部方面教育隊上級陸曹課程において、北部方面總監より「北部方面總監賞」を受賞
 3月30日、第12施設群第335施設中隊は、第3施設団長より「団総合隊務優秀中隊」を受賞



一般 公募

『陸上自衛隊・ヘリコプター体験搭乗』 (人数限定)

岩見沢駐屯地広報班では春のヘリコプター体験搭乗希望者を一般募集しています。小学生以上の健康な方(後日審査有り)であれば誰でも応募できます。応募方法は書面に下記必要事項をご記入の上、あて先までご応募下さい。×切は19年5月31日当日消印有効です。抽選結果は「体験搭乗のご案内」の発送をもって換えさせていただきます。なお、当選発表後の審査及び当日の天候等により、ご搭乗出来ない場合もございますのであらかじめご了承下さい。

必要記入事項: ①氏名②年齢③住所④電話番号⑤職業⑥職業先住所

応募先: 〒068-0822 岩見沢市日の出台4丁目313-1 陸上自衛隊岩見沢駐屯地広報班『ヘリ体験搭乗募集』係 まで

平成十八年度
札幌地方隊友会の「隊友の集い」開催

札幌地方隊友会（会長 吉田正義）では、平成十九年二月十日（土曜日）十七時から、クラブハウス（札幌市）で恒例の「隊友の集い」が開催されました。

各支部から三〇〇余名の札幌地方隊友会員が一堂に集い盛大に実施されました。

岩見沢支部からは、黒田支部長・遠藤事務局長・市川会計理事・櫻井理事・柿村理事・石井理事・白根理事の七名の方々が参加されました。

吉田会長の挨拶に続き持田修氏（元方面総監）と大西俊氏（十一師団長）の祝辞に続き乾杯そして宴会にと移った。

他支部会員と久しぶりの再会に同僚や知人と懐かしい思い出話や近況について語り合う姿が無受けられました。

途中、バンドや女性歌手によるショーもあり楽しい時間がアツという間に過ぎ去り万歳三唱で散会となりまだまだ名残を惜しみながらお互いに元気で再開出来ることを誓いつつ会場を後にした。

柿村理事（寄稿）



左から、柿村氏、遠藤氏、石井氏、黒田氏、白根氏、櫻井氏の各会員

平成十八年度
岩見沢支部の「隊友の集い」開催

隊友会岩見沢支部は、恒例の平成十八年度「隊友の集い」を三月十一日（日曜日）北村温泉ホテル（北村字赤川）において、会員三十二名の皆さんの参加をいただき支部の最後の行事が開催されました。

四三℃の源泉一〇〇％の天然温泉を、薄めず、沸かさずのお湯が湯船から惜しげも無く溢れている温泉を楽しむ会員の皆さん、

遠赤外線効果により健康を増進すると言われている岩盤浴を楽しむ会員の皆さん、

早々に麻雀の卓を囲み和やかな雰囲気の中で、マーじゃんを楽しむ会員の皆さん、

囲碁・将棋で久しぶりの対戦を楽しむ会員の皆さん、

それぞれに分かれて楽しいひと時を過ごし心と身体のリフレッシュされたようです。

十八時からは、全員一同に会して記念写真を撮った後、懇親会に移り、黒田支部長のご挨拶のあと久しぶりに顔を会わせる方々もおられ近況を語り合いながら旧交を深めていた。

余興としてのビンゴゲームが開かれ、蔵本・清水氏の進行で抽選玉を読みあげる度のため息をつくる、喜ぶ人など楽しい時間を過ごしました。

最後に新会員の鶴窪氏のお開きの乾杯で散会になり、ビンゴゲームの景品を土産に送迎バスに乗り込み次回の再会を楽しみに温泉をあとにしました。

市内に到着後、久しぶりの仲間と二次会に流れて行く元気な会員の皆様もおられたようです。

毎年多くの皆さんの参加を頂いています。若くは隊友の皆さんの参加が少ないようです。

次回は若い隊友会員の参加をお待ち申し上げます。

隊友会広報班 記



挨拶をする黒田支部長



「隊友の集い」参加の皆さん



お二人の進行でビンゴを楽しむ

PUB
あおき

岩見沢市2条西2丁目
TEL 0126-24-8085

hair salon
わたなべ

自衛隊員の方優遇！料金2500円！！
〒068-0851 岩見沢市大和1条7丁目3-46
渡邊正吾
TEL 0126-(25)-0666

EVENT HALL
駅東市民広場
イベントホール赤れんが

多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください TEL 0126-(22)-5871

岩見沢市有明町南1番地7
株式会社 振興いわみざわ
代表取締役 五十嵐 関

心をこめて、これからも

AIG
AIGエジソン生命

お気軽にご相談ください。
AIGエジソン生命保険株式会社
業務隊厚生科内
常駐社員：田村純子(内線338)

Gibraltar
ジブラルタ生命

私たちはブルデンシャル・グループの一員です。
ブルデンシャルは、126年の歴史を持つ米国籍最大の金融機関であり
世界の顧客に幅広い金融商品・サービスを提供しております。
ジブラルタ生命保険株式会社
札幌南支社 岩見沢支部
〒068-0074 岩見沢市4条西4丁目 グレイズ寄エビル4F
TEL: 0126) 22-4875 FAX: 0126) 22-5734

お客様のニーズに
お答えいたします。
夜の桜の下で乾杯と
よき夜

スナック 夜咲桜

岩見沢市2条西2丁目
TEL 0126-(24)-3189

四方山話

刻苦勉励をして

岩見沢福祉会 剣道部 部長 川東岩男

今冬は暖かく、どうやら大雪も少なく、排雪が少なくすむかと思つたら、突然に大雪が降つたりして、例年どおりの降雪量になった。岩見沢である。

いつの間にか高齢者の仲間に入り剣道がどんなにすばらしいものかは相当地に年齢が進まなければわからない。

私を含めて剣道嫌いを育ててはいけない。

特に幼少年指導には、自分から剣道はすばらしいと思わなければ幼少年の継続は難しい状態だ。

さて、平成十七年九月から二泊三日で、第一回全剣連の社会体育上級指導員講習会が、千葉県の日本武道館研修センターで行なわれ申込者多数で選んでいる状態だった。

札幌で初級を認定されてから十年目の上級指導員の講習会であった。主催者もまた注目するとこれもある。

その要領については、月刊「剣窓」で大きくは掴んでいたが、試験七課目の細部はまったく把握できなかった。

私も生涯剣道を目標にしているので試みることにして千葉に飛んだ。

参加者は、練士七段以上、全国からの参加者六十二名で北海道から私一人だった。

指導される先生は、初級・中級を指導された八段(最高段位)の先生方であった。実技試験もあつたりして各地域における剣道講習会等で講師をとめられる人を認定するものだった。

全てに挑戦して北海道に帰り発表が待ちかねた。

まだ在職中の事でもあり稽古は限られていたが、ほどなくして発表されたがその中には私の名前はなかった。

五十代、六十代の合格者は多いが、果たせるかな、七十代には不合格者が多かった。

結果は、これまでの練習に問題があつたと言うわけである。

高齢者は、指摘のとおり、基本の繰り返しが少なく自分流の稽古になつている。

わるい稽古を多くやるとさらにどんどん悪くなる。

常に目標を持って、求める稽古でなければならぬ、この様な指摘があつた。

それからは、上位の先生に学んで気持ちを整えて、早く講習会に参加してやり直しをしたいと思ひ、第四回の全剣連社会体育上級講習会に申込をした。

やはり参加者が多くて講習会は満員らしい。

平成十八年十二月八日から二泊三日で、大阪舞洲アリーナで実施された。

先生方は、全国大会とか八段大会でお目にかかる方々ばかりで指導を受け、学科・実技に臨んだ。

前回同様に、指導テスト・剣道技術テスト等々のテストの多い講習会だが何とか全部終了した。

八十歳にもなる高齢者もいてびっくりしたが、指導実習に紹介されたときは会場にザワメキがあつたほどだった。

開けばそれだけに健康維持のために努力されている先生で身体も柔らかい。

高齢者は、やはり基本の繰り返しと継続が、生涯剣道に近づいてくると感じた。

講習終了の挨拶の中に手応えを感じて帰道した。

剣道には、いいものを求め続けると言う伝統がある。

それを磨き続けなければならない。後日、社会体育上級指導員の合格の知らせがあつた。

これまでに指導をいただいた先生方に心よりお礼を申し上げます。

高齢者になつても、向上しつつ生涯剣道を求め続けるときのみに心法的にも技法的にも向上し続けることが可能であるのが剣道である、ことを教えられました。有難うございました。

お二人の縁立ちを、真心のおもてなしでご祝福いたします。



Do Wedding

IWAMIZAWA
HEIANKAKU
岩見沢5条東2丁目 TEL. (0126)31-4841

三井グリーンランド
ホテル **ザンプラザ**


ご婚礼スーパーセレクト
プラン

「Only one」発表!

ご宿泊のお客様は豪華地入膳無料!
(宿泊当日と翌日の2日間)

1068-0004 岩見沢5条東1丁目 岩見沢14
0120-02-6868 FAX 0126-23-7766

三井グリーンランド
遊園地・ホワイトパーク
よろこぶ事と健康のコートピア



千葉電気工事株式会社

代表取締役 **千葉 嘉男**

岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

SNACK



北の国から

飲み放題 3000円 (5名様から)
岩見沢市3条西1丁目宮川ビル2F
店主 平井

0126 - (22)-8873

あなたと生きていく保険。

朝日生命

岩見沢営業所
電話 (0126) 22-0207番

保 険 王

自衛隊退職者雇用協議会

岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：五十嵐 閣
TEL: 0126 - 22 - 3445

団冬季戦技競技会中隊対抗の部優勝

第三三六施設中隊 三曹 藤原 雅樹

平成十八年二月七日、団冬季戦技競技会が行われた。自分は今の中隊に配属になって三度目の大会で、群の大会では何度も優勝しているが、団では優勝したことがなく、今シーズンも『団優勝』を目標に掲げて始めました。雪の多い岩見沢では十二月下旬から練習ができ、合わせて筋力トレーニングをして体を作りながら一月からの転地訓練に向けて練成を重ねていました。転地訓練に入ると、一層集中して練習できる環境と教官・助教によって考えられた濃密なメニューにより、選手要員一人一人の意識が高まっていくのを感じました。どこの中隊よりもきつく、効率的な練習をする事で、これなら優勝できるという自信になりました。

勝つためには運も必要だが、みんなで積み重ねた「努力」、これは勝った分だけ比例して、勝利に近づける要素だと感じました。来年度もV2目指して、みんなで頑張ろう。



写真：左より2番目が藤原3曹

冬季野営に参加して

本部管理中隊 陸士長 木村 有貴

今年2月に行われた3日間の野営において、LIC・行軍を行いました。どれも初めての経験であり、事前に教育を受けたものの、それらの訓練に対してイメージがつかないままの野営参加でした。

LICでは、いくつかの状況下に応じた射撃をするといった訓練をし、こういった時にどういう行動・射撃をすればよいのか、即判断し行動に移すことに難しさを感じました。

行軍では、寒さと訓練での疲労、そして荷物を背負いスキーを履いて1日中かけての行軍。演習場の道なき道を突き進み、木の枝に引っ掛かったり、ちょっとした坂を下るたび転んだりして、完歩するまでに何回転んでいたことか。

この野営で1番印象に残ったのは、2回の宿営でイグルーを作成したことでした。初めて作成したわりにはとても出来がよかったのではないかと自己満足しています。イグルーの中は暖かいと思っていましたが、1日目は風が強かった為、厚着をしても体が温まることはありませんでした。その日の寒さの厳しさを再度実感したくないと思い、2日目は前日の経験から、着込めるだけ着込み、更にカイロを全身に16枚張り完全防備をしましたが、逆にこの日は暖かくて、仮眠時スリーピングの中はサウナ状態で、朝目を覚ませば寝汗を掻いていました。さすがにここまでの寒さ対策はやりすぎでした。今回の経験から、失敗したこと・もう少しこうしたほうがよかったという点を生かし、来年の冬季野営に臨みたいと思います。



写真：第3施設団冬季戦技競技会にて

人事往来

○転出

【十二施設群】

群本部
一尉 本山 順治 (北海道補給処・島松)
二尉 島崎 裕樹 (北方教育連隊・俱知安)
三尉 牧野えりか (一〇五施設隊・南恵庭)

本管中
一曹 能藤 大作 (北総監部付隊・札幌)
士長 三本木直己 (三〇一保安中・札幌)

三三三五施中
三曹 監物 貴宣 (中央病院・三宿)
三三六施中
一尉 寺本 智治 (防衛施設支局・熊本)
一曹 下川 和之 (三〇五施設隊・三軒屋)

三三七施中
三尉 高橋 悠由 (第四施設大・大村)
二曹 増田 弘幸 (一〇五施設隊・南恵庭)

三三二施中
三佐 佐藤 雅人 (中方指揮支隊・川西)
二曹 谷 努 (北総監部付隊・札幌)

三二二器中
一尉 渡辺 裕之 (中央資料隊・市ヶ谷)
三尉 鈴木 善貴 (第二施設大隊・旭川)
三〇二坑中
二曹 多田 正樹 (静内駐業隊・静内)

【第二直接支援中隊】

一曹 魚住 正広 (北教育連隊・東千歳)
二曹 森下 彰裕 (一〇一施設支大・南恵庭)
二曹 谷脇 学 (一〇一施設支大・南恵庭)

【駐屯地業務隊】

二佐 佐藤 春巳 (北総監部付隊・札幌)
一尉 森永 誠 (二師団司令部・旭川)
二尉 小見 一仁 (第七施設大隊・東千歳)

准尉 山崎 俊実 (北方衛生隊・真駒内)
一曹 本田 浩幸 (三〇三夕車中・南恵庭)

二曹 西村 真幸 (三〇三夕車中・南恵庭)
二曹 金戸 一也 (第十二施設群・岩見沢)

行(一) 三枝 龜澤 文彦 (函館駐業)
行(一) 二枝 清水 亘 (静内駐業)
行(一) 三枝 佐藤 順子 (島松駐業)

【第三三七会計隊】

一尉 出口 澄夫 (北補処安平強支・安平)
二曹 小泉 佳亮 (三三四会計・帯広)
三曹 佐井 大輔 (三三四会計・上富良野)

【三一四基通中岩見沢連絡班】
曹長 福村 慎吾 (三一四基通中・真駒内)

○転入

【十二施設群】

群本部
一尉 衛藤 栄治 (一〇五施設隊・南恵庭)

本管中
曹長 天野 昌幸 (一〇五施設隊・南恵庭)

三三五中
二曹 團田 明良 (三〇三夕車中・南恵庭)
二曹 小田 桐真澄 (北方航空隊・丘珠)

三三六中
二曹 金戸 一也 (岩見沢駐業・岩見沢)
二曹 中村 圭 (一〇五施設隊・南恵庭)

三三七中
三曹 鈴木 隆 (一〇五施設隊・南恵庭)
三曹 岡嶋 尚也 (一〇五施設隊・南恵庭)

三三六中
一尉 山下 拓路 (一〇五施設隊・南恵庭)
二曹 玉井 慶彦 (一〇五施設隊・南恵庭)

三三七中
三曹 佐藤 栄徳 (一〇五施設隊・南恵庭)
三曹 伊藤 章博 (三施設団付隊・南恵庭)

三三二中
二曹 梅津 敏之 (一〇五施設隊・南恵庭)
二曹 安達 典彦 (一〇五施設隊・南恵庭)

三三二器中
三曹 岸本 友宏 (三〇三夕車中・南恵庭)
三曹 野呂 英聖 (施設教導隊・勝田)

三三二坑中
一曹 猪爪 悟 (一〇三施設中・小郡)
二曹 坂本 秀幸 (第一施設大隊・新豊)

三三二坑道中
二曹 工藤 一夫 (一〇五施設隊・南恵庭)
二曹 菊地 宏正 (一〇五施設隊・南恵庭)

【第二直接支援中隊】
二曹 龜山 忍 (一〇五施設隊・南恵庭)
二曹 斎藤 信一 (一〇一施設支大・南恵庭)

【駐屯地業務隊】
二曹 橋谷 正則 (一〇一施設支大・南恵庭)
二曹 佐々木 啓雄 (一〇二全支大・真駒内)

昇任 (三月二十一日付)

三等陸尉へ
第三三六施設中隊 鳥越 宜光
第三三七施設中隊 石橋 和佳
第三三五施設中隊 森田 哲也
第三三六施設中隊 小笠原 涉
第三三七施設中隊 梅崎 光男
第三一二施設器材中隊 松枝 秀治

永年の勤務ご苦労様でした



第2直接支援中隊
陸曹長 中川 由
19年4月22日付

335施中 佐々木3曹
おうま 煌馬くん
1月27日生

335施中 川村3曹
りんく 凜空くん
1月17日生

335施中 松村2曹
しょうご 翔悟くん
1月4日生

337施中 天崎士長
りゅうと 隆斗くん
12月28日生

336施中 森 2曹
まさおみ 将臣くん
2月15日生

336施中 敦賀 3曹
きよか 心奏ちゃん
1月14日生

2直支中 中田2曹
あゆか 歩佳ちゃん
3月22日生

302坑中 舟生2曹
こうや 煌弥くん
1月27日生

337施中 織田3曹
まこ 愛湖ちゃん
3月22日生

第336施設中隊
3曹 今村 裕也
妻 和美さん
19. 2. 22

第327会計隊
2尉 土門 勝哉
妻 礼さん
19. 2. 28

